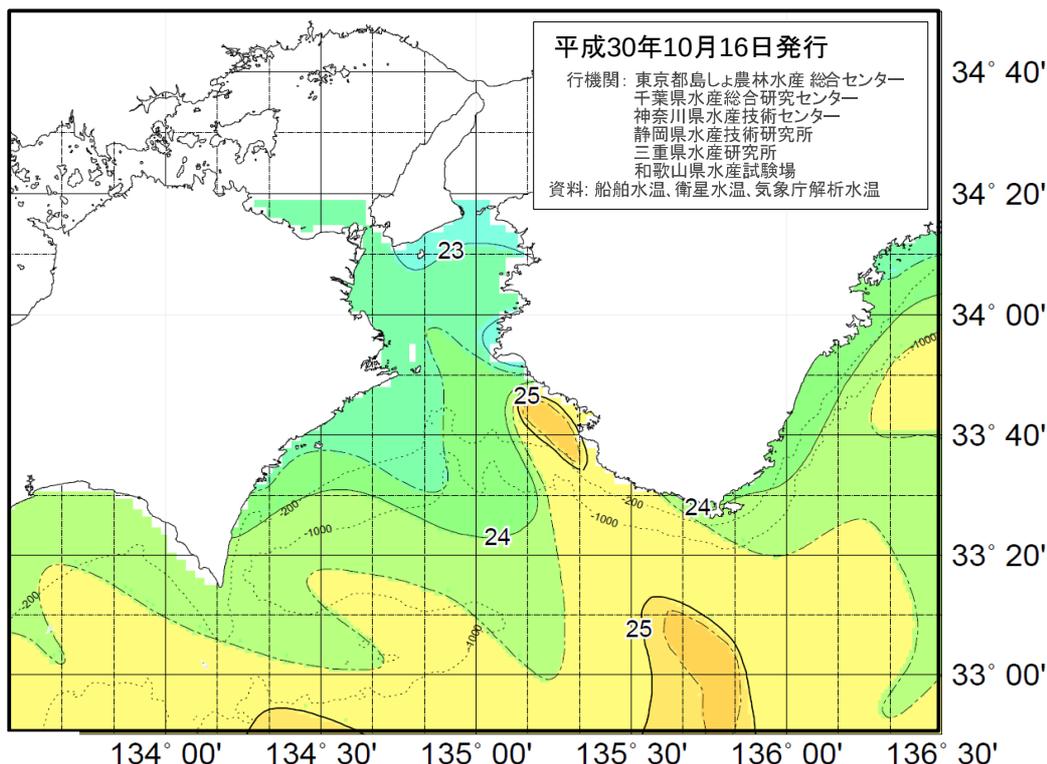


海況

1. 周辺海域の水温(10月10日～10月16日)

黒潮は、室戸岬沖では11日に北上して「やや離岸」となったが、その後再び南下して「離岸」で推移した。潮岬沖では先週に引き続き「離岸」で推移していたが、16日には南下して「著しく離岸」となった。

16日の徳島沿岸の水温は、播磨灘、紀伊水道及び海部沿岸ともに23℃台となった。紀伊水道から海部沿岸の全域で内海水が広がり水温が下がっている。黒潮の表面水温は26～27℃台であった。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖	接岸：～25NM	やや離岸：25～45NM	離岸45～65NM	著しく離岸：65NM～
潮岬沖	接岸：～26NM	やや離岸：25～56NM	離岸56～86NM	著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

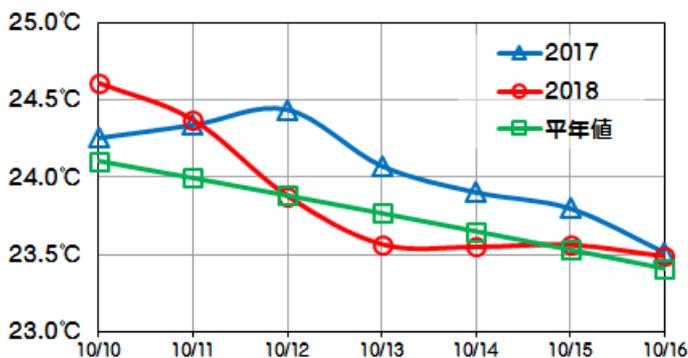
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(10月10日～10月16日)

鳴門地区の地先水温は、「やや高め」から「平年並み」の23.5℃～24.6℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、「平年並み」の23.5℃～24.8℃で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1982年～2016年の平滑平均値

3. 週間予報(10月17日～10月23日)

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」から「離岸」で推移する見込み。潮岬沖では、「著しく離岸」から「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに「平年並み」の22～23℃台で推移する見込み。

漁況

2018年10月8日～10月14日（旧暦8月18日～8月25日）

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網では、シラスが25ト水揚げされた。

釣りでは、タチウオが0.2ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく増えて4.0ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大主体に0.8ト、メジナが0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが1.1ト、ブリが0.6ト、ヘダイが0.5ト、マアジが0.3ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが3.2ト、タチウオが大きく増えて2.9ト、イボダイが0.5ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでは、カツオが大きく増えて13.0ト、タチウオが大きく増えて1.1ト、シイラが0.4ト、カンパチが0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、タチウオが0.9ト、マアジが0.4ト、カワハギが0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	75	シラス	25,000	333		↗
	釣り	9	タチウオ	207	23		
	延縄	63	サワラ	4,045	64		↗↗
		42	シマフグ	203	5		↗↗
	建網	93	カワハギ	823	9	大主体	↗↗
		40	メジナ	320	8		↗↗
	小型定置網	26	カンパチ	1,084	42		↘
		18	ブリ	605	34		↗
		24	ヘダイ	461	19		↘↘
		25	マアジ	337	13		↗
	底びき網	34	ハモ	3,222	95	中主体	↘
		30	タチウオ	2,939	98		↗↗
		27	イボダイ	496	18		↗↗
		20	えそ類	258	13		↗↗
		29	シログチ	225	8		↘
13		キチヌ	201	15		↘↘	
海部沿岸	釣り	5	カツオ	12,975	2,595		↗↗
		26	タチウオ	1,054	41		↗↗
		7	シイラ	358	51		↗↗
		47	カンパチ	354	8		↗↗
	小型定置網	31	タチウオ	894	29		↗↗
		10	マアジ	357	36	小小主体	↗↗
		45	カワハギ	302	7	大主体	↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘